

# ○歯科保存学 2 : 623-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*中山 洋平 (歯周治療学)

学修目標 (G I O) と単位数	<p>・単位数：2単位</p> <p>・学修目標 (G I O) : 歯科保存学は、う蝕、歯髄疾患および歯周病などに陥った歯および歯を支える歯周組織を治療し、口腔の機能を維持・回復するための治療学であるとともに、これらの疾患に罹患しないように予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存治療は日常臨床で、高頻度に行う治療であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。臨床では、患者の訴え(疼痛、腫脹、動揺など)を開き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および治療方針の決定し、治療を行い、さらに経過(予後)の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に実施できる様に、歯科保存学の知識、技能を習得する。臨床学科目である歯科保存学を習得するために、正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応、治療に用いる材料など、今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<p>1. 保存修復学の評価 講義・実習に関する平常試験を1回実施して評価する。これを成績評価とする。正当な理由がある場合は、追試願届を提出されたのみ追試験を実施を検討する。追試験の追試験は行わない。 授業時間数から勘案し、7%を保存修復学の成績割合とする。</p> <p>2. 歯内療法学の評価 平常試験①、②、実習試験による総合評価とする。原則的に追再試験は実施しない(公欠の場合を除く)。 授業時間数から勘案し、60%を歯内療法学の成績割合とする。実習を欠席した場合(公欠含む)、追実習は行わない。</p> <p>3. 歯周治療学の評価 平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験・追実習試験は実施しない(公欠の場合を除く)。実習を欠席した場合(公欠含む)、追実習を行うが、公欠の場合で追実習が不参加であった場合、欠席とする。 授業時間数から勘案し、33%を歯周治療学の成績割合とする。</p> <p>4. 授業および実習をそれぞれに対して4/5を超えた出席を必要とする。授業または実習を1/5以上欠席した者は、授業の平常試験または実習の実習(実技)試験のそれぞれの再試験受験資格を喪失する。</p>

## 歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	通年	*中山 洋平 (歯周治療学)

学修ユニット学修目標 (G I O)	<p>2016年の歯科疾患実態調査の結果、8020達成者は51.2%で、2011年の40.2%から急増した。4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は年齢が増すにつれて高い傾向を示し、45歳以上では50%以上を占め、全年齢層の約40%に歯肉出血が認められる。8020達成者の増加からも、歯周病に罹るリスクを有する歯の数が増加している。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な歯周病検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p>
担当教員	<p>*中山 洋平、*高井 英樹、*高井 瑞穂、*齋藤 由未、*武田 萌、*守屋 叡、*小鹿山 希、*坂本 昌之、*山田 憲、福井 優、堀部 和俊、堂東 聖、若林 健史、鈴木 真名、新井 政人、荒木 正大、五十嵐 一馬、五十嵐 尚美、池田 寛、岩井 泰伸、岩佐 俊夫、岡野 千春、加藤 直子、金子 博寿、北澤 伊、金 東淳、齋藤 綾一朗、佐々木 庸子、澁川 直也、*鶴屋 祐人、中嶋 祐、能田 佳佑、古瀬 信久、*松村 浩禎、*目澤 優、山口 亜利彩、*山之内 文彦、*横田 祐司</p>
教科書	<p>臨床歯周病学第3版 村上伸也ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳歯周治療学講座編 歯周治療学講座医員 なし</p>
参考図書	<p>ザ・ペリオドントロジー第4版 沼部幸博ほか 永末書店 歯周外科 見て学んではじめるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版</p>
実習器材	<p>顎歯模型、歯周外科治療用器具一式</p>

評価方法 (E V)	平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない（公欠は除く）。実習を欠席したものは追実習を行う。 実習を欠席した場合、原則追実習を受けること。実習を1/3以上欠席した者は、いかなる理由による欠席でも追実習は認めない。 正当な理由により実習（実技）試験を欠席した場合、追実習（実技）試験を受けること。実習を1/3以上欠席した者は、いかなる理由による欠席でも追実習（実技）試験受験資格を喪失する。
学生への メッセージ オフィスアワー	歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床で高頻度で行われている治療である。適切な診断、治療が実施できるためには、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要になる。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠である。実習では、臨床の場を想定して主にファントム（マネキン）実習を行うが、相互実習も行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として恥ずかしくない、清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨み、講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問してください。また、e-mail 中山：nakayama.youhei@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/07 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(1) 歯周外科治療総論、 切除療法、組織付 着療法	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の概要を踏まえた上で、切除療法、組織付着療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の分類を説明できる。 3. 切除療法および組織付着療法の種類を列挙できる。 4. 切除療法および組織付着療法の各手術について、適応症を説明できる。 5. 切除療法および組織付着療法の各手術について、手技を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：切除療法、組織付着療法の種類と手術の術式および適応症について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/04/08 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p>	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 尚美 池田 寛 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金子 博寿 北澤 伊 齋藤 綾一朗 澁川 直也 能田 佳佑 古瀬 信久 松村 浩禎 横田 祐司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/08 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	若林 健史
2026/04/08 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 1-(9) 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	* 中山 洋平 * 高井 英樹 * 高井 瑞徳 * 齋藤 由未 * 武田 萌 * 守屋 叡 * 小嶋山 希 * 坂本 昌之 * 山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 尚美 池田 寛 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金子 博寿 北澤 伊 齋藤 綾一朗 澁川 直也 能田 佳佑 古瀬 信久 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/04/14 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義 (2) 歯周組織再生療法、 歯周形成手術	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生療法、歯周形成手術の種類を列挙し、それぞれの適応症と手技を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生療法、歯周形成手術の種類を列挙できる。 3. 歯周組織再生療法、歯周形成手術における各手術の適応症を説明できる。 4. 歯周組織再生療法、歯周形成手術における各手術の手技を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	* 高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/14 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(2) 歯周組織再生療法, 歯周形成手術	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*高井 英樹
2026/04/15 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 2-(10) 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 3. 縫合法の種類を理解する。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 新付着術 (ENAP) の術式について事前学習する。 事前学習時間: 30分新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を予習する。(目安時間 60分) 事後学習項目: 新付着術 (ENAP) の縫合法について事後学習する。 事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金 東淳 松村 浩禎 *山口 亜利彩 山之内 文彦 横田 祐司 若林 健史
2026/04/15 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 2-(10) 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 3. 縫合法の種類を理解する。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 新付着術 (ENAP) の術式について事前学習する。 事前学習時間: 30分新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を予習する。(目安時間 60分) 事後学習項目: 新付着術 (ENAP) の縫合法について事後学習する。 事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小麓山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 尚美 岩井 泰伸 岩佐 俊夫 金 東淳 松村 浩禎 *山口 亜利彩 山之内 文彦 横田 祐司 若林 健史
2026/04/21 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(3) 口腔機能回復治療, 特殊な歯周治療	【授業の一般目標】 初診からサポーターティープリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療の流れにおける口腔機能回復治療, および特殊な歯周疾患に対する治療方法を理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病治療における口腔機能回復治療の位置づけについて理解する。 3. 口腔機能回復治療の内容について理解する。	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/21 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(3) 口腔機能回復治療, 特殊な歯周治療	4. 特殊な歯周疾患を列挙できる。 5. 特殊な歯周疾患の病態を説明できる。 6. 特殊な歯周疾患の治療法について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 202教室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 k 全身疾患を有する者の歯周疾患治療  【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 h 口腔機能回復治療 c 壊死性歯周疾患 a 急性症状を有する歯周疾患への対応  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*中山 洋平
2026/04/22 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習3-(11) 咬合治療 暫間 固定 根分岐部病 変の処置 歯肉剥離搔爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法について説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 咬合性外傷に対する治療  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞穂 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 齋藤 綾一朗 中嶋 祐 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/04/22 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習3-(11) 咬合治療 暫間 固定 根分岐部病 変の処置 歯肉剥離搔爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法について説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞穂 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/22 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 3-(11) 咬合治療 暫間 固定 根分岐部病 変の処置 歯肉剥離搔爬手術 (1) 切開線の記入	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 咬合性外傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 齋藤 綾一朗 中嶋 祐 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/04/28 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義(4) 歯周病検査と病態	<p>【授業の一般目標】 歯周病検査の項目を列挙し、各検査項目の意義を理解し、検査結果から歯周病の病態を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病検査の項目を列挙できる。 3. 歯周病検査項目の意義を説明できる。 4. 歯周病の病態について、歯周病検査の結果に基づいて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病検査および歯周病の病態について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周病検査および歯周病の病態について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査・顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織（歯周病）検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 b 歯周炎とそのリスクファクター 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因・病態 カ 炎症 b 分類と病態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。</p>	*高井 瑞徳
2026/04/30 (木) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 4-(12) 歯肉剥離搔爬手術 (2) 剥離、搔爬、スケー リング・ルートブ	<p>【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称と使用方法を説明できる。 歯槽骨に対する処置（骨整形、骨削除、骨移植）について学ぶ。歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。</p>	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/30 (木) 3時限 13:10~14:40	レーニング、骨整形、縫合	術後の注意点について説明できる。 <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。 <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 事前学習項目：歯肉剥離搔爬手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離搔爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 <b>【学修方略 (LS)】</b> 実習 <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 202教室、第2実習室 <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) <b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 一馬 岩井 泰伸 岡野 千春 佐々木 庸子 *鶴屋 祐人 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/04/30 (木) 4時限 14:50~16:20	歯周実習4-(12) 歯肉剥離搔爬手術(2) 剥離、搔爬、スクレーピング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	<b>【授業の一般目標】</b> 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離搔爬手術に使用する器具の名称と使用法を説明できる。 歯槽骨に対する処置 (骨整形、骨削除、骨移植) について学ぶ。歯肉剥離搔爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離搔爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離搔爬手術の縫合法を説明できる。 <b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 事前学習項目：歯肉剥離搔爬手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離搔爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 <b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 <b>【学修方略 (LS)】</b> 実習 <b>【場所 (教室/実習室)】</b> 202教室、第2実習室 <b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) <b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞穂 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 五十嵐 一馬 岩井 泰伸 岡野 千春 佐々木 庸子 *鶴屋 祐人 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/05/12 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義(5) 歯周病の病因と歯周基本治療	<b>【授業の一般目標】</b> 多因子性疾患である歯周病の病因論を学び、それぞれの病因を改善する歯周基本治療内容を説明できる。 <b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 細菌因子について説明できる。 3. 宿主因子について説明できる。 4. 環境因子について説明できる。 5. 歯周基本治療の種類を列挙し、説明できる。 6. 病因を改善できる歯周基本治療を選択できる。	*齋藤 由未

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/12 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義(5) 歯周病の病因と歯周基本治療	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*齋藤 由未
2026/05/13 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療（歯周形成手術）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞穂 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/05/13 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p>	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞穂 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/13 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 5-(13) 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	<p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 金 東淳 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史</p>
2026/05/19 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類を説明できる。歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周形成外科手術の種類、適応と禁忌を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周形成外科手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周形成外科手術について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	<p>*中山 洋平 鈴木 真名</p>
2026/05/20 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 6-(14) 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 *目澤 優 山之内 文彦 横田 祐司 若林 健史</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/20 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 6-(14) 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *齋藤 瑞徳 *武田 由未 *守屋 萌 *小麓 叡 *小鹿 山 希之 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 *目澤 優 山之内 文彦 横田 祐司 若林 健史</p>
2026/05/20 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 6-(14) 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	<p>【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	<p>*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿 山 希之 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 *目澤 優 山之内 文彦 横田 祐司 若林 健史</p>
2026/05/26 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周講義 (7) 歯周基本治療に関する問題演習	<p>【授業の一般目標】 歯周病の疫学、解剖、検査方法を理解しつつ、歯周病の病因、病態にあった歯周基本治療を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 3. 歯周病の疫学の特徴を説明できる。 4. 歯周病検査項目を目的別に列挙できる。 5. 歯周病の病因論を説明できる。 6. 歯周病の病態から診断し、その歯周基本治療の方法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式</p>	<p>*高井 瑞徳</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/26 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義 (7) 歯周基本治療に関する問題演習	c 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる (疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。	*高井 瑞徳
2026/05/27 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 7-(15) 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータティブペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 3. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違いについて事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後学習する。 事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法)  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 新井 政人 荒木 正大 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/05/27 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 7-(15) 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータティブペリオドンタルセラピー (SPT) とメンテナンスの重要性について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 3. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違いについて事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後学習する。 事後学習時間: 30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 新井 政人 荒木 正大 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/27 (水) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 7-(15) 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス ス	各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療（歯周組織再生療法）  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 新井 政人 荒木 正大 岩井 泰伸 加藤 直子 松村 浩禎 横田 祐司 若林 健史
2026/06/02 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験1	【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療の種類を列挙し、病因、病態に適した治療方法を選択できる。 3. 歯周外科治療の種類を列挙し、それぞれの目的、適応症、手技を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略（LS）】 講義  【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*中山 洋平
2026/06/03 (水) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講 義	【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。  【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略（LS）】 実習  【場所（教室/実習室）】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療	*中山 洋平 *高井 英樹 *高井 瑞徳 *齋藤 由未 *武田 萌 *守屋 叡 *小鹿山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/03 (水) 3時限 13:10~14:40	歯周実習 8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講義	③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *齋藤 瑞徳 *武藤 由未 *守屋 萌 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 若林 健史
2026/06/03 (水) 4時限 14:50~16:20	歯周実習 8-(16) 実技試験 歯周治療学総括講義	【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 実習  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*中山 洋平 *高井 英樹 *齋藤 瑞徳 *武藤 由未 *守屋 萌 *小鹿 山 希 *坂本 昌之 *山田 憲 福井 優 堀部 和俊 堂東 聖 若林 健史
2026/08/18 (火) 2時限 10:40~12:10	歯周まとめ試験2 解説講義	【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療  【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*中山 洋平
2026/11/30 (月) 2時限	歯周治療学 歯周 基本治療 歯周病	【授業の一般目標】 歯周病検査の結果、口腔清掃状態を評価し、検査結果と口腔清掃状態を説明で	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	検査 ブラッシング指導	<p>きる。種々のブラッシング法と適した歯ブラシの選択し、使用法を説明できる。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 歯周病検査が実施でき、検査結果を説明できる。  3. 口腔清掃状態の評価と、状態を説明できる。  4. ブラッシング法の種類を列挙できる。  5. 歯ブラシの選択と使用法を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学習項目：歯周病検査の項目とブラッシング法を事前学習する。  事前学習時間：30分  事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。  事後学習時間：30分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング有、実習形式  板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  202教室、第2実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  必修の基本的事項  9 検査・臨床判断の基本  オ 口腔・顎顔面の検査  b 歯周組織の検査</p> <p><b>【国家試験出題基準（副）】</b>  歯科医学各論  各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患  3 歯周疾患  ウ 歯周疾患の治療  b 歯周基本治療</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>  E 臨床歯学  E-3 歯と歯周組織の常態と疾患  E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因  ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィーム）及び歯石を説明できる。  E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療  E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療  ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/11/30（月） 3時限 13:10～14:40	歯周治療学問題演習	<p><b>【授業の一般目標】</b>  歯周病の疫学，解剖，検査方法を理解しつつ，歯周病の病因，病態に適した歯周基本治療，歯周外科治療を選択できる。</p> <p><b>【行動目標（SBOs）】</b>  1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。  3. 歯周病検査項目を目的別に列挙できる。  4. 歯周病の病因論を説明できる。  5. 歯周病の病態を診断し，適切な歯周基本治療を選択できる。  6. 歯周病の病態を診断し，適切な歯周外科治療を選択できる。  7. 歯周外科治療の種類を列挙し，手技を説明できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b>  事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。  事前学習時間：30分  事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。  事後学習時間：30分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b>  アクティブラーニング無  板書，プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p><b>【学修方略（LS）】</b>  講義</p> <p><b>【場所（教室/実習室）】</b>  202教室</p> <p><b>【国家試験出題基準（主）】</b>  歯科医学総論  総論Ⅶ 治療  2 歯・歯周組織・咬合の治療  ア 基本的術式  c 歯周治療</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b>  E 臨床歯学  E-3 歯と歯周組織の常態と疾患  E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療  E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療  ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル，分子生物学的レベルでの説明を含む）。  ②歯周疾患の検査法，診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。  ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。  ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/30 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学問題演習		*中山 洋平
2026/11/30 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学問題演習の解説	<p>【授業の一般目標】 歯周病の疫学、解剖、検査方法を理解しつつ、歯周病の病因、病態に適した歯周基本治療、歯周外科治療を選択できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 3. 歯周病検査項目を目的別に列挙できる。 4. 歯周病の病因論を説明できる。 5. 歯周病の病態を診断し、適切な歯周基本治療を選択できる。 6. 歯周病の病態を診断し、適切な歯周外科治療を選択できる。 7. 歯周外科治療の種類を列挙し、手技を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/12/07 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周疾患の病態と歯周病検査	<p>【授業の一般目標】 歯周病の病態を理解し、それを評価するための歯周病検査項目を選択し、検査結果を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病検査の項目を列挙できる。 3. 歯周病検査項目の意義を説明できる。 4. 歯周病の病態を検査項目にしたがって説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病の病態と検査項目について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明で</p>	*高井 瑞穂

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/07 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周疾患の病態と歯周病検査	きる。	*高井 瑞穂
2026/12/07 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周病の病因と歯周基本治療	<p>【授業の一般目標】 歯周病の病因を理解し、適切な歯周基本治療を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の病因を列挙できる。 3. 歯周基本治療の種類を列挙できる。 4. 歯周病の病因に対する歯周基本治療を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病の病因と歯周基本治療について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/12/07 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学 歯周病の病因と歯周基本治療	<p>【授業の一般目標】 歯周病の病因を理解し、適切な歯周基本治療を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周病の病因を列挙できる。 3. 歯周基本治療の種類を列挙できる。 4. 歯周病の病因に対する歯周基本治療を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周病の病因と歯周基本治療について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*高井 英樹
2026/12/14 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周外科治療総論①	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療を分類し、歯周外科治療の種類を列挙し、各手術の適応症、手技を説明し、病態に適した術式を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療を分類できる。 3. 歯周外科治療の種類を列挙できる。 4. 歯周外科治療の適応症を術式ごとに説明できる。</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/14 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周治療学 歯周外科治療総論①	<p>5. 歯周外科治療の手技を術式ごとに説明できる。 6. 歯周病検査, 口腔内写真画像, エックス線画像の所見から, 歯周外科治療の術式を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周外科治療の種類と適応症を事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法) f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*中山 洋平
2026/12/14 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周外科治療各論①	<p>【授業の一般目標】 歯周外科治療を分類し, 歯周外科治療の種類を列挙し, 各手術の適応症, 手技を説明し, 病態に適し術式を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療を分類できる。 3. 歯周外科治療の種類を列挙できる。 4. 歯周外科治療の適応症を術式ごとに説明できる。 5. 歯周外科治療の手技を術式ごとに説明できる。 6. 歯周病検査, 口腔内写真画像, エックス線画像の所見から, 歯周外科治療の術式を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目: 歯周外科治療の種類と適応症を事前学習する。 事前学習時間: 30分 事後学習項目: 授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有, 実習形式 板書, プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法) f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p>	*中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/14 (月) 3時限 13:10～14:40	歯周治療学 歯周外科治療各論①	④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*中山 洋平
2026/12/14 (月) 4時限 14:50～16:20	歯周治療学 歯周外科治療各論②	<p><b>【授業の一般目標】</b> 歯周外科治療を分類し、歯周外科治療の種類を列挙し、各手術の適応症、手技を説明し、病態に適し術式を選択できる。</p> <p><b>【行動目標 (SBOs)】</b> 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療を分類できる。 3. 歯周外科治療の種類を列挙できる。 4. 歯周外科治療の適応症を術式ごとに説明できる。 5. 歯周外科治療の手技を術式ごとに説明できる。 6. 歯周病検査、口腔内写真画像、エックス線画像の所見から、歯周外科治療の術式を選択できる。</p> <p><b>【準備学修項目と準備学修時間】</b> 事前学習項目：歯周外科治療の種類と適応症を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：授業時配布のプリントで事後学習を行う。 事後学習時間：30分</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</b> アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p><b>【学修方略 (LS)】</b> 講義</p> <p><b>【場所 (教室/実習室)】</b> 202教室、第2実習室</p> <p><b>【国家試験出題基準 (主)】</b> 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p><b>【国家試験出題基準 (副)】</b> 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) e 歯周外科治療 (歯周組織再生療法) f 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p><b>【コアカリキュラム】</b> E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*中山 洋平